



AUE News



2012年5月15日

第 40 号

編集・発行
愛知教育大学広報部会
TEL 0566-26-2738
FAX 0566-26-2500

目次

● 行事予定(5月16日-31日)

● トピックス

- ・クールビズ開始
- ・一色高校が本学を見学
- ・いきもの写真展
- ・金融教育講演会
- ・検収センター看板上掲式
- ・「大学案内 2013」表紙撮影

・第43回子どもまつり

● お知らせ・報告・投稿

- ・東海学生陸上競技対校選手権大会結果
- ・附属図書館で「思い出の一冊」紹介
- ・小中英語支援室「英語学習なんでも相談室」開設
- ・附属名古屋小学校の生活科授業 全国紙に掲載
- ・催しもの案内

行事予定(5/16-31)

- 16日(水) 教員人事委員会 (13:30～ 第五会議室)
財務委員会 (15:30～ 第五会議室)
第43回大学祭 (20日まで、構内一帯)
- 21日(月) 役員会 (14:30～ 学長室)
- 22日(火) 評価委員会 (13:30～ 学長室)
愛知県内教育関係者との懇談会 (10:00～ KKR名古屋)
- 23日(水) 共通科目専門委員会 (14:00～ 第三会議室)
学生寮防災・防火訓練 (13:30～ 学生寮)
- 25日(金) 保健環境委員会 (10:00～ 第五会議室)
ボースステイト大学一行来学 (10:00～ 学長室ほか)
- 26日(土) 共同教科開発学専攻開設記念式典 (13:00～ 名鉄ニューグランドホテル)
- 28日(月) 役員会 (13:00～ 学長室)

トピックス

クールビズ開始(5/1)



夏季の節電対策の一つとして、ネクタイや上着を着用しないで業務にあたる「クールビズ」が5月1日(火)からスタートした。実施期間は10月31日(水)まで。

本学では、地球温暖化対策の一環として、冷房の適温徹底および業務効率の向上のために従来からクールビズに取り組んできた。2009年度までは6月1日～9月末、2010年度は5月半ば～10月末、そして震災の影響で電力不足が懸念された昨年(2011年)は5月1日～10月

末に期間を拡大。さらに、ペットボトルなどのリサイクル繊維素材の大学マーク入りポロシャツが大学生協で発売されるなど、クールビズを積極的に推進してきた。今年も初日から早速、多くの職員がノーネクタイ、シャツ姿など軽装で出勤し、業務に従事していた。

一色高校生徒が本学見学(5/9)

愛知県立一色高等学校 3 年生 17 人と教員 2 人が、5 月 9 日（水）午後、本学を見学に来た。

一行は第一会議室で、職員から大学の概要、入試、カリキュラムについて各 15 分間説明を受けた。熱心に聴き入っていた。生徒からは「初等と中等の違いは？」などと質問があり、取得できる免許や資格について教務課職員が丁寧に答えた。

その後、構内施設を見学。職員からの説明を聞きながら、第一共通棟や附属図書館、ガラス工房、生協などを見学して回り、「高校と違って、大学は広いので驚いた」「この大学で勉強したい」などと話していた。



いきもの写真展(5/9-22)

写真サークルによる「いきもの写真展」が附属図書館アイ♥スペースで5月9日（水）から始まった。22日（火）まで。

同サークルは昨年4月、技術教育専攻の学生を中心に結成。現在10人が所属し、隔週に学内外で撮影を行っている。初めての写真展のために選んだテーマは「いきもの」。猫や馬、ペンギンから人間まで、さまざまな生きものを撮影した写真13点が展示されている。



大半の部員は本格的な写真撮影は未経験。高校時代写真部に所属していた部長と副部長、顧問の太田弘一教授（技術教育）のアドバイスを受けながら、作品づくりに挑んだ。「写真を撮るうちに、背景を気にしたり、（被写体が）いい表情になるまで待つようになった」「初めてにしてはなかなかいい写真が撮れたと思う」と作品を前に満足そうなメンバーたちは、「撮影するのが楽しかったので、次回は違うテーマで写真展をしたい」と新たな思いも語っていた。

金融教育講演会(5/10)

5月10日（木）に、金融広報中央委員会（日本銀行）企画役の竹内俊久氏を招いて、金融教育に関する講演会が、第一共通棟301講義室で開催されました。私たち（鵜飼遙佳、前田宗誉、村井望）が2011年12月に日銀グランプリという学生のための小論文・プレゼンテーションコンテスト（主催・日本銀行）において「先生のための金融教育（小学校編／中高編）」を提言。学校の先生になる学生に対する金融教育を実現する取り組みに関するもので、今回の講演会は、水野英雄先生（地域社会システム講座）、高久賢也先生（名古屋大学）が企画し、金融広報中央委員会の協力を得て実現しました。



当日は「学校における金融教育の重要性と実践」と「混迷する世界経済と国際金融の動向」の二つのテーマで講演いただきました。前半は学校における金融教育の展開をキャリア教育など幅広い視点を取り入れながら実践と合わせて紹介、後半では、最新の国際金融の動向、子どもに金融経済を教える意義を分かりやすく説明していただきました。竹内氏は金融広報中央委員会事務



局で金融教育の推進に取り組み、全国各地で講演や大学での講義などを行っています。講演は大学生の私たち自身が金融や経済に興味を持ち、理解を深め、さらにそれを教育の現場で生かす方法を知り、金融教育について改めて考えるよい機会になりました。

経済の混迷が続く中で、生きる力として金融や掲示に関する知識を身につけるために、学校における金融教育の推進が求められています。将来教師になろうと考える学生の皆さんが今後、金融や経済に関心を持ち、積極的に学んでいただければとても嬉しく思います。

(現代学芸課程国際文化コース国際社会履修モデル4年 鵜飼遥佳)

検収センター看板上掲式(5/11)

本学では、5月11日(金)に松田正久学長、白石薫二財務・施設担当理事(事務局長)および福井豊財務部長出席のもと、検収センターの看板上掲式を行った。



これまでは、財務企画室と学系運営課の会計担当事務職員が連携して、それぞれで実質的な検収事務を行ってきたが、不正行為を発生させない、確実な納品検収体制を構築するため、発注担当者と完全に分離して、専任職員による独立した“見える形”での検収センターを新たに設置したものの。

本部管理棟北西側に新設した検収センターは、財務企画課とは別室になっており、駐車スペースから直接納品でき

る外部ドアおよび物品棚を設けており、4月1日から一元的な検収業務を制度化し、納品チェック体制を充実・強化して業務をスタートした。

松田学長は「この検収センター設置により、これまで以上に不正行為・不正経理の発生しにくい体制整備ができたので、調達・検収事務をしっかりとっていただきたい」と検収センターの役割について述べた。

(財務企画課経理調達室長 加藤昌)



「大学案内 2013」表紙撮影(5/11)

大学パンフレット「大学案内 2013」の作成が大詰めを迎え、5月11日(金)には、表紙撮影がキャンパスで行われた。



大学案内は、受験生や保護者などに本学を紹介する大学広報誌。現在制作中の大学案内は2013年度受験生を対象にしたもので、オープンキャンパスをはじめ、入試のための大学説明会、高校訪問、大学見学の参加者、高校などで配布する。大学PRの機会が増え、発行部数は年々増加し、受験生へのメッセージとして重要な役割を担っている。

2013年度版の作成は昨年11月から始まり、授業風景やクラブ活動の撮影が学内で進められ、この日はパンフレットの“顔”となる表紙写真をプロのカメラマンが撮影。五月晴れの日を選んで決行。緑が美しいキャンパスを歩き交う人々をバックに、表紙モデルを務める学生が未来を見据えて前進するイメージを表現し、ポーズや表情を少しずつ変えながらシャッターが切られた。表紙の後は、大学の国際化をアピールするため、留学生の談笑シーンも撮影された。

この後、最終的な編集作業を経て、完成は6月中旬の予定。入試課、秘書広報課などで配布する。

第43回子どもまつり(5/13)

「第43回子どもまつり」が5月13日(日)、本学構内で開催され、1150人の子どもたちが来場、158人の学生が参加し、ゲームやイベントを通して一緒に楽しんだ。

前日までの強風や雨も止んで、この日は温かな五月晴れと、天候に恵まれたこともあって、午前9時の受付開始時間には開場を待ちわびる子どもたちが行列。受付でもらったパンフレットを首から提げて、開会式会場の第一体育館へ向かった。9時40分からの開会式には、「子まつりキャラ」たちも登場し、



実行委員が、落とし物をしたり、迷子になった際の注意をクイズ形式で紹介。開幕すると、子どもたちと学生が小グループになって、それぞれお目当ての会場に向かった。



第一共通棟の1,2階の教室、第一・第二体育館、中庭などでは、学生たちが子どもまつりのために考えた迷路ゲームやお化け屋敷、人形劇、シャボン玉、プレゼント抽選会などが繰り広げられた。子どもたちは「いろんなゲームがあって楽しかった」「大学生にお兄さん、お姉さんたちと遊べて嬉しかった」などと話し、夕方の閉会式まで子どもまつりを満喫していた。

お知らせ・報告・投稿

東海学生陸上競技対校選手権大会(結果報告)

5月11日(土)～13日(日)に名古屋市瑞穂運動公園陸上競技場で行われた「第78回東海学生陸上競技対校選手権大会(東海インカレ)」(東海学生陸上競技連盟主催)の結果を報告します。
(陸上部顧問 筒井清次郎)

*

*

男子総合3位(1位中京大、2位岐阜経済大)、女子総合3位(1位中京大、2位至学館大)。個人では、男子3段跳びの佐脇匠(体育3年)と女子3000m障害の花岡紗耶(体育4年)が優勝。その他の入賞者は以下の通り。

男子は、石井一将(体育4年)が100m4位、200m3位、400mの平野達也(体育4年)が8位、1500mと5000mで小塚雄介(体育M2)が2位、10000m競歩の戸松弘成(英語1年)が2位、4×100の松浦尚人(体育4年)石井一将、池田康平(体育2年)立脇慧一(英語4年)が5位、4×400の都築僚太(情報4年)原井川巧(分子3年)立脇慧一、平野達也が3位、走高跳の松橋俊太(学校教育M2)と糟谷隆明(体育1年)が4位、棒高跳の一ノ瀬航(体育4年)が4位、走幅跳の石井一将が8位、三段跳の羽實昂也(体育1年)が5位、砲丸投の松尾卓郎(理科1年)が6位、円盤投の平井将人(体育3年)が3位。

女子は、100mの沖佳織(体育1年)が4位、船坂実来(体育2年)が5位、200mの沖佳織が5位、船坂実来が6位、400mの愛敬世菜(体育4年)が7位、800mの愛敬世菜が2位、安藤実来が2位、1500mの花岡紗耶が4位、安藤実来が6位、5000mの荻野夏帆(体育1年)が7位、10000mの服部綾実(宇宙3年)が7位、100mハードルの藤本彩夏(体育4年)が6位、400mハードルの藤本彩夏が3位、3000m障害の松本杏美が6位、4×100の沖佳織、船坂実来、中井香苗(国語3年)滝井亜由美(体育2年)が3位、4×400の愛敬麻矢(体育3年)沖佳織、藤本彩夏、愛敬世菜が3位、走高跳の堂ノ下藍(体育3年)が4位、相馬由佳(体育1年)が5位、走幅跳の大道爽香(体育2年)が8位、三段跳の堂ノ下藍が2位、砲丸投の武蔵千里(体育4年)が3位、ハンマー投の武蔵千里が2位、7種のデメロ香織(体育2年)が4位。

附属図書館で「思い出の一冊」紹介(お知らせ)

本学の附属図書館では、来館者に本と出会う機会を提供しようと「図書館員が選ぶおすすめ本」を月ごとのテーマで紹介している。5月は「思い出の一冊」と題して、図書館運営を担当する情報図書課職員有志が思い出の本をセレクト、2階貸し出しカウンター近くに、テーマコーナーを設けて、書籍20数冊とそれぞれの本の思い出を合わせて展示。それらを一覧できるファイルも置かれている。



例えば、絵本「100万回生きた猫」には「言わずもがなのベストセラー。『愛を知らなければ、死ぬことすら許されない』…。大人が読んでも考えさせられる不朽の名作」、「ちびくろさんぼ」には「幼稚園児の愛娘に毎

夜布団の中で読まされた。虎がバターになっちゃうなんて大人でも信じられないのに、娘の『何でバターになっちゃうの?』『うちの猫もバターになっちゃうの?』にこたえられないまま。その娘も二児の母に…」など。その本の魅力や思い出が込められている。

コーナーの企画・展示を担当する同課の稲葉裕美さんは、「展示の本やコメントを目にして、本を手にとって読んでもらえたら。毎月テーマを変えていくので、それに呼応して貸し出しの数が増えると嬉しいですね。本との出会いの場をこれからも提供していきます」とアピールしている。



小中英語支援室「英語学習なんでも相談室」開設(お知らせ)

小中英語支援室では、毎週水曜日午後英語学習支援のための『英語学習なんでも相談室』を開設しました。

英語力をアップしたい学生のみなさん、基礎からスタートしたい方、e-learning(ネットアカデミー)を使って勉強をしたい方、TOEICの学習方法がわからない方、『英語学習なんでも相談室』で学習をしませんか。毎週利用しても構いませんし、TOEIC受験やテスト前のみでも構いません。自分のスケジュールや目標に合わせて、計画的に英語学習を行うサポートを小中英語支援室スタッフが行います。特に本年度より1年生の皆さんにはTOEIC350点以上というスコアが目標です。この機会に相談室を活用して英語力を向上させましょう。

*

*

時間：毎週水曜日午後開講。1人30分～1時間程度

場所：第1人文棟6階(608)小中英語支援室内

予約制：aue.english@gmail.com

件名に「英語学習なんでも相談室予約希望」と書いて、名前・学部・学年・電話番号・希望する日時を記入してメールで予約してください。

(小中英語支援室 小川知恵)

教職大学院のイベント(お知らせ)

教育実践研究科(教職大学院)から6月、7月に開催のイベントのお知らせです。

*

*

●教育実践研究科(教職大学院)体験授業

教育実践棟模擬授業室

講義形式：ワークショップ型・各30分

両日終了後に入試説明会を開催いたします

6月2日(土)13:30～14:45

対象：小・中学校の現職教員

- ① 「学級担任の見方・考え方」
- ② 「1枚指導案を書いてみよう（小学校6年生歴史）」

6月20日（水）13:30～14:40

対象：教職を目指す大学4年生

- ① 子どもとのキャッチ&レスポンス能力を磨く」
- ② 「子どもとの出会いを演出する～学級びらきのポイント～」

●教育実践研究科（教職大学院）公開授業

第一共通棟 302 教室

両日終了後に入試説明会を開催いたします

7月3日（火）

- ① 10:50～10:40 「カリキュラムの開発と評価Ⅰ」
- ② 13:20～14:50 「授業づくりの内容と方法」
- ③ 15:00～16:30 「自律する学校づくり」

7月6日（金）

- ① 10:50～10:40 「心の教育と道徳教育の推進」
- ② 13:20～14:50 「問題行動の理解と生徒指導・相談活動の進め方」
- ③ 15:00～16:30 「学級経営ワークショップ」

問い合わせ・参加申し込み：教務課教職大学院担当係

support_ml@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

詳細は、教職大学院ホームページを参照

<http://www.aichi-edu.ac.jp/kyoshoku/>

附属名古屋小学校の生活科授業が全国紙に掲載（報告）

『朝日新聞』5月13日（日）付朝刊（東京本社版も名古屋本社版も同じ）の「花まる先生公開授業」の紙面に、本学の附属名古屋小学校2年3組の生活科授業の様子が掲載されました。今川昌幸教諭の実践で「もっと速い帆を探そう」と題して。

「風で走る車を作ろう」が単元で、前時では帆の材料を工夫したが、この授業では、もっと速く走るにはどうしたらよいかを「帆の形、大きさ」に着目して考えて作ってみよう、という学習です。詳しくは同紙の記事をご覧ください。のびのびと課題と向き合う子どもたちの様子が描かれています。

担当記者は、同社の社会部教育班の宮坂麻子記者。名古屋本社時代から教育問題一筋のベテラン記者です。このシリーズは元もと2007年4月の同紙夕刊紙面で始まったもので、掲載された数多くの授業を集めた『いちばん受けたい授業』（朝日新聞社編、2009年）が刊行されています。現在は朝刊掲載に変わっていますが、今期のシリーズは全国の附属学校の授業を取り上げることだそうで、本学の附属小学校の教育実践が載ったことは意義深い。これを機に、楽しく生き生きとした授業づくりのさらなる探求に期待します。（附属学校担当理事 折出健二）

催しもの案内

◆愛知教育大学天文台第72回一般公開

5月19日（土）13:30～20:30 入場無料、申し込み不要

自然科学棟5階 地学538教室 雨天時も観望会以外は開催

13:30～16:00 天文工作教室「日食メガネを作ろう！」「3D宇宙の旅」上映会

14:00～15:30 昼間の観望会「金星と太陽の観望会」

18:00～19:00 天文ミニ講座「2日後に迫った金環日食」講師：澤武文教授

19:00～20:30 夜の観望会「土星を見よう！」

問い合わせ：理科教育講座天文学研究室 TEL 0566・26・2624

詳細は、天文台ホームページを参照

<http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/>

◆愛知教育大学天文台 金環日食特別観望会

5月21日(月) 6:00~9:00 入場無料、申し込み不要

自然科学棟屋上

問い合わせ：理科教育講座天文学研究室 TEL 0566・26・2624

詳細は、天文台ホームページを参照

<http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/>

◆Momo&Kako's Handmade works~手芸展

5月21日(月)~27日(日) 10:00~17:00 水曜休

刈谷駅前商店街「スペースAqua」

本学美術科卒業の2人展。ハンドメイド品、主に子ども服を展示。一部作品販売あり。

問い合わせ： TEL 080・1568・2656

編集後記



本学のシンボルマークのモチーフはカキツバタです。キャンパスからすぐ近くの小堤西池のカキツバタ群落は、昭和15年に国から天然記念物に指定されています。広報用写真撮影を兼ねてお花見に行ってみました。あちらこちらにカキツバタが咲き乱れ、緑と紫のコントラストがきれいでした。地元の保存会の皆さんから「カキツバタは一つの茎に三つのつぼみをつけて、順番に花を咲かせるんですよ」（知らなかった!）などと説明もしていただきました。池にはカエル、トンボ、サギの姿、周りの麦畑は麦秋を迎えていて、日本の原風景を見るようでした。豊かな自然に、ほっと心癒されました。

(K)



投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp 編集責任者:総務担当理事 折出 健二